

令和6年度 学校評価のまとめ

令和7年2月21日

北海道札幌白石高等学校

1 学校教育目標

高い志を持ち、グローバルで持続可能な社会を創造する人間の育成

- ◆ 主体的に学び、夢や希望の実現に挑戦できる実践力のある人を育てる。
- ◆ 自己の才能や可能性を最大限に発揮し、生涯にわたって自己を高め、学び続ける人を育てる。
- ◆ 豊かな心と健康な身体を持ち、生命を尊重する心身ともに健康な人を育てる。

2 自己評価結果

(4点満点)

大項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	達成状況の適切さ	取組の適切さ	改善の方策の適切さ
	中項目	小項目						
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	教科シラバスについて教員全体で理解され学習方法・評価等について適正な実施につ努めている。	3.0	3.0	・三年間を見通した学習指導の実践により生徒の学習意欲と学力の向上を図る。 ・育成すべき資質・能力や学習意欲の喚起等の共通理解を深め、目標を共有すること。 ・学業優先し部活動とのバランスをとりながら文武両道を図る。	A	A	A
		学力向上に向け、授業アンケートを実施し積極的に授業改善に取り組んでいる。	2.8	2.8				
	各教科等の授業の状況	家庭学習の習慣化に努めている。	2.4	2.6		A	B	A
評価者の意見等	○元々学力が高い生徒が勉強しない雰囲気にならぬのが勿体ない。 ○家庭学習の習慣化の項目が低い。自主的に学習をして欲しい年齢だが、提出物を増やす等の対策が必要だと思った。							
生徒指導	生徒指導の状況	挨拶・身だしなみ等、基本的生活習慣確立のための指導がされている。	3.0	2.9	・本校で育成すべき生徒像について、研修等を通じて共通理解を図り、一貫した指導体制を再構築する。	B	A	A
		生徒指導に関して、教職員の共通理解・実践が図られており、性情報が共有されている。	2.9	2.9				
	教育相談の状況	生徒の抱える悩みや問題の早期発見及び問題が発生した場合の対応が適切に行われている。	3.2	3.2	・担任・保健室との情報交換を密にし生徒観察や声かけ、保護者との連携を密にする。 ・様々な事情や不安・悩みを抱えた生徒が増加しSCや外部機関との連携を図る。2人担任を活かし、いじめの未然防止や早期発見に努める。	A	A	A
		生徒と共感的な人間関係が構築されている。	3.1	3.0				
健康安全の状況	生徒の安心・安全を担保できる環境の構築と健康・安全・性に関する指導を積極的にしている。	3.2	3.2	A	A	A		
評価者の意見等	○挨拶、身だしなみに関しては良き指導頂き感謝しています。 ○Classiや学校の対応等、様々な場面で対策が感じられます。							
進路指導	キャリア教育推進の状況	生徒の進路意識を啓発し、将来の展望を明確にするためのキャリア教育の充実を図っている。進路実現に向けた講習の充実を図っている。	3.0	3.0	・大学受験等の変化に伴い情報収集に努め、進路シラバス等を活用し、生徒意欲を高める指導をおこなう。 ・三年間を見通しを持ち、保護者の協力を得ながら、各年次ごとに一貫した進路指導に努める必要がある。	B	A	A
		生徒の進路実現に向けた科目選択や講習等の充実を図っている。	3.0	2.8				
	保護者との連携状況	保護者との連携を十分に図った進路指導の推進している。	3.0	3.0		A	A	A
評価者の意見等	○各種検定や資格取得の重要性を周知して欲しい。 ○色々な機会、対応などについて、適切だと思っている人が増えていて、私自身もそう思います。							
特別活動	行事・部活動の状況	学校行事や生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な参加を促進するとともに、生徒の豊かな人間性が育成されている。	3.3	3.2	・以前に近い形での行事が実施できた。さらに時代にマッチした新しい形での行事のあり方について見直す機会とする。 ・スマホの利用マナーや頭髪・指導等について教員と生徒会でのルールづくりや自治活動の取組をさらに図る。	A	A	A
		部活動と学習の両立が図られるよう指導されている。	3.0	2.8				
	行事の精選	学校行事や部活動の精選、工夫、改善に努めている。	3.0	3.0		A	A	A
評価者の意見等	○学校祭は細部については色々あったが、終わってみれば素晴らしい。生徒の頑張りも本当に凄かった。 ○部活動や行事で、活気があることが評価からも感じられる。改善の方策も良いと思う。							
組織運営	地域連携の状況	保護者や地域への積極的な情報提供(通信・HP)に努め、積極的に意見や要望を学校運営に反映している。	3.0	2.9	・より良い白石高校を創造するため、教職員が協力して学校課題を解決していける体制づくりを大切にする。 ・改善に資する会議や研修会により、教職員間の情報交換を活発におこなうことで共通理解の深化を図る。 ・教職員間のコミュニケーションを密に行うことにより互いに知恵を出し合い、それぞれの得意を活かしより良い方向性を見出す集団の構築を図る。	B	B	B
		地域関係機関との連携による、諸活動(ボランティア等)に積極的に参加できる環境づくりに努めている。	2.8	2.8				
		PTAや同窓会、地域の関係機関との連携・協力が図られ、開かれた学校づくりが推進されている。	3.0	3.0				
	協働意識と課題の共有	前年度の反省に基づき、目標達成状況や学校運営改善のための課題の共有を図っている。	2.9	2.9		B	B	A
前年度踏襲にこだわらず、職員の協働体制のもと、生徒・保護者・地域の信頼と期待に応えるべく教育活動を展開している。		2.8	2.8					
評価者の意見等	○ボランティアのゴミ拾い等は見かけなくなると感じる。PTAへの理解は厚くいつも感謝しております。 ○1クラス担任2人制は続けて欲しい。年次回の先生の団結力が高いのは頼もしい。 ○前年度より良い評価を得ている。ボランティア活動に関してはあまり情報が共有されていないと思う。							